

# 市議会行政視察 海外に学ぶ

アジア各都市における日本企業の最新の進出状況について調査するとともに、官民一体となり事業を展開する企業、自治体等との意見交換を行うため、ベトナムとシンガポールの2か国について視察を実施しました。

『平成29年度

海外都市行政視察報告』

参加者 小川宏子、鈴木利宏、

山下守

日程 平成29年10月29日～

11月3日

視察先 ベトナム、シンガポールの2か国

＊ホーチミン日本国総領事館

(目的：ベトナム南部の事情調査)

在ホーチミン日本総領事館は

1993年に開設され、ダック

ラック省、フイエン省以南の

24省、2直轄都市を管轄してい

ます。ここでは、ベトナムの政

治・経済や文化、国民性や気質

について北部と南部では大きく

違いがあるなど丁寧かつ意義深い説明を受けました。

日本同様、ベトナムでも少子化が急速に進みつつあり、そのスピードは日本以上です。介護や看護の人材不足が問題であることから、そのような方の働きやすい環境整備が急がれます。日本企業の進出は盛んですが、少しでも給料が高いところに引き抜かれるといった従業員の離職率の高さが課題となっています。また、「親を大切にする国民性」をしっかりと理解して成功している企業が、家庭訪問をし、技能実習生を受け入れ、プ



ホーチミン日本国総領事館

ライベートに踏み込んだ人間関係を築く努力をしていることに、もっと注目すべきだと思います。

＊ホーチミン外国語情報大学

(目的：ベトナムの教育事情、ベトナムから見た日本について)

1992年にサイゴン外国語・情報専門学校として開学され、1994年にベトナム政府の決定により、民立の大学として設立されています。大学の歴史は浅いものの、国際的な連携を急速に進めており、アメリカ、フランス、インド、マレーシア、韓国などから多くの留学生やインターンを受け入れています。当日は、授業の参観及び学生とディスカッションを行いました。日本に対して非常に興味を持っていただきたいと思います。日本の現状や生活の様子等を伝え、日本の良い点や悪い点を知っていただき、自国について考えてもらえればと思います。その上で、一層、親日になってもらえることを期待します。

### \*JETROシンガポール事務所

(目的…日系企業の進出状況・シンガポールの経済成長について)

シンガポール共和国は熱帯に位置しており、雨季と乾季があります。海に囲まれているため湿度が高い国です。東広島市よりやや大きい719km<sup>2</sup>の国土に、561万人が生活しています。JETROシンガポール事務所の説明を受ける中で、経済発展が著しいアセアン地域への進出拠点として、政治・経済が安定し、犯罪に巻き込まれるリスクが比較的低いシンガポールの優位性と、研究・開発拠点、アジア・オセアニア地域への物流拠点としての重要性を理解することができました。

現在進められている生活水準を高めるための国民のスキルアップ政策や、急速に進みつつある少子高齢化を克服するための政策など、これからの活動の参考に使いたいと思います。



JETROシンガポール事務所

### \*ひろしま産業振興機構シンガポール事務所

(目的…シンガポールの経済状況と広島県内企業進出状況について)

以前は広島県や広島商工会議所から駐在員を配置していましたが、現在は民間会社に業務を委託しています。現地の経済情報を収集するとともに県内企業と現地企業のビジネスマッチングの支援のためにビジネスサポーターが配置されています。また、シンガポールの特質として、人件費や家賃が東京よりも高く、開業資金以上に運転資金に余裕を持たせないと事業展開のネックになる恐れがあるとの

ことでした。

ここでは、シンガポールへの企業進出の優位性をわかりやすく説明いただきました。また、進出するために克服しなければならぬ課題と心構えなどリスクも理解でき大変有意義な研修でありました。ひろしま産業振興機構の開設から現在に至る組織形態の変遷の説明を受けて感じたことは、広島単独ではなく近隣県や、中国四国ブロックなど大きな枠組みでマーケティング支援（会社設立・事業構築等）をされたほうが情報の共有ができ、より詳細にデータがとれ、進出する企業の過度な競合

が避けられるのではないかと感じました。

### \*全体を通じての所感

この度の視察では、2か国を訪問し、異なる文化の国へ日本企業が進出する難しさや、日本人がよいと思っていることを定着させることの難しさを痛感しました。ベトナムにしてもシンガポールにしても、その国の発展のためには国民性を理解し丁寧な対応をしていかなければならないと思いました。そしてそのことが、日本の国際協力につながることを強く認識しました。

また、今回の訪問国は、日本を上回るスピードで少子高齢化の波に飲み込まれることが予測されています。お互いの立場を尊重し手を取り合って知恵を出し、様々な課題を克服できる環境ができることを熱望します。



ひろしま産業振興機構シンガポール事務所